

会計部長として

会計部長 羽生 恵美子



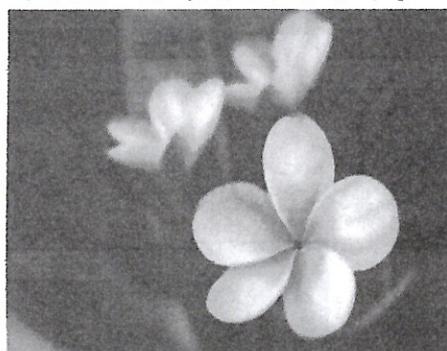
新型コロナウイルスの国内感染者数は、10月23日現在で7日連続50名を下回り、千葉も13人と少なくなりました。千葉南部支部の活動もできるようになる希望も少しずつ見えてきました。

現在私は、退職後6年目になります。江東区の就学相談員としてコロナ禍での感染対応しながらですが勤務しております。これからも特別支援教育について考えていきたいと考えております。

長年会計部長として務めてくださった武田先生より委託されて引き受けさせていただきました。武田先生には、今までご尽力いただき感謝申し上げます。会計担当の役割は、口座開設など引き継ぎ事項もたくさんあり責任ある仕事だと感じました。

9月に議案作成会がありましたが入会后初めて参加させて頂きました桐谷先生はじめ役員の皆様にお会いでき、つながりの大切さを感じ貴重な時間を送らせて頂きました。

微力ながら千葉南部支部の活性化に力を尽くしたいと考えております。



令和3年度の本部会計と支部会費の振り込みのご協力に感謝申し上げます。

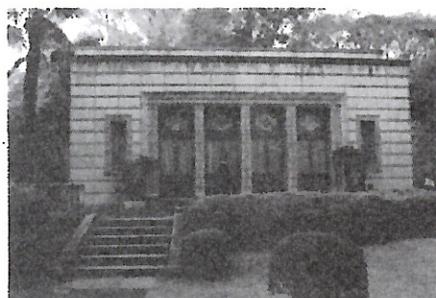
これからもどうぞご協力よろしく願い申し上げます。

プラトラ

「渋沢栄一を辿る」

研修部長 赤坂 寅夫

昨年から続くコロナ禍で「〇〇の秋」を十分



に楽しむことが出来ない今ですが、来年は気兼ねなく外出できる状況になりましたら早速プラトラを実施

したいと考えております。

今、私の構想に浮かんでいるのは、「渋沢栄一を辿る」です。NHK大河ドラマ「晴天を衝く」を皆さんも既にご覧のことと思います。

これまで政治・行政の面からとらえることが多かった明治維新を経済・民間の側からとらえており、私自身新しい観点で考えさせられることが多くあります。

「日本の資本主義の父」として多くの事業を起こした実業家であることは周知のことでしたが、その考え方やあの時代に医療や福祉まで着手していたことは知りませんでした。

特に多くの実業家の指針となった「論語と算盤」で示している考え方は、現代の政治家や経営者こそ学ぶべきことと強く思っています。利益追求だけでなく、筋の通った理念・道徳を持つと言う



「士魂商才」の考え方に心動かされます。

東京・飛鳥山の「渋沢資料館」、埼玉県深谷市の「深谷駅」、渋沢栄一記念館、旧渋沢邸「中の家」など、渋沢栄一ゆかりの地を訪ねてみませんか。

『吾が教職人生を振り返って』

相談役 大久保 明夫

吾が人生 昭和・平成と走り抜く

師友の恩恵ありてこそ今 明夫

学習を通して、人間形成の素地を育てる初等教育・教職に関わられたことに誇りと感謝。

1、吾が小学校教育の原点

戦禍から守りし子らの集団疎開

歴史は重く明日に語りき 明夫

戦後 75 年、遠き昭和の小学校 3 年生の 8 月から翌年の終戦（太平洋戦争）後にかけて、学童集団疎開で体感した辛さ厳しさを二度と小学生に味合わせたくない。～子供と共に考え、その子なりのやり方をわからせていける先生でありたい。

この思いが、私の小学校教育の原点でした。歴史を知ることは、己を知ることでもある。

2、教職・教育へのおもい

(1)おらが学校

定年退職して四分の一世紀、振り返ってみると、己の研修、教育活動を通して得たことは多い。



長年に渡って教職に身を投じてきた私は、教師として、教育者の一人として「学校は教育の場」であることを、しみじみ感ずる私である。その為にも、学校は児童・生徒を取り巻くより良い教育環境の整備、学校と保護者、地域の方々との連携の大切さを強く感ずる私である。

このように「おらが学校」と地域の人々が思える学校づくりを推進していくことが重要な課題なのである。学校での教育者の問題、子供への虐待、いじめが報道されてる今日、慎むべき大きな課題と言えよう。

このように「おらが学校」と地域の人々が思える学校づくりを推進していくことが重要な課題なのである。学校での教育者の問題、子供への虐待、いじめが報道されてる今日、慎むべき大きな課題と言えよう。

(2) 教職に関わる心構え

私が勤務した精華小学校百周年を迎える当時、私が「なかなか覚えられません」と話したことがある。

校長は、「それはね大久保さん、身についていないからだよ。教頭さんの立ち居振る舞いを盗まなくっちゃ」と…。こう言われたことを、私の今を作ってくれた言葉として心で受け止め実践してきた私である。

そのことは、学校教育のあるべき姿を吾が身に付けての行動が取れるよう努めていくことである。公私混同しないことの大切さをも含めて、校長として、管理者、教育者として、また人間として率先垂範していく心配り、心構えを身に付けていくことである。

～「井の中の蛙 大海を知らず

されど空の深さを知る」

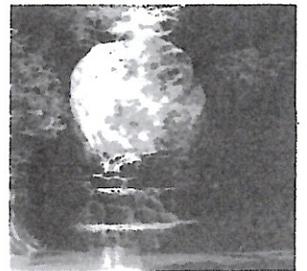
つまり、教育、教職に関わる人として、幅広い人間像が求められるのである。

3、人生への思い

人生は いろいろな思い越えていく

わが人生は 如何ばかりかな 明夫

季節は廻り、川の流れるように移りゆく世～人は、みな「大河の一滴」。己に克つ心、楽地生根の心根で、心を込めて一生懸命に心地よく生き抜く。知恵と教えをもつて、力の限り遣り抜く心意気。



夕ざれば旅立つ師友に思い果て

わが人生を 振り返る吾れ 明夫

人生の深い谷間、険しい山、諸行無常の世の中、時は得がたく失いやすい。吾が人生、挑み続ける気持ち持ち続け、心豊かに生き抜く…。

師友ありて 生きる知恵を授かって

日々決心 日々新たに 明夫

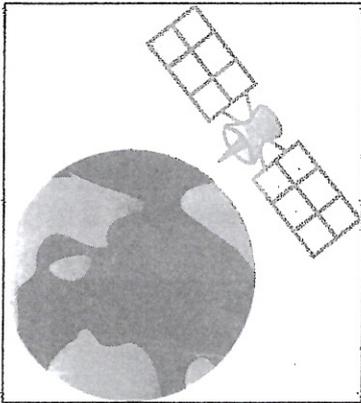
師、知人、都もありて道が開ける。己を啓発してくれた一切のものに感謝。旅の終わりに「有難う！」といえる吾が人生という旅でありたい。生きることの尊さ～人生は、日々の努力の積み重ね…。

宇宙が危ない！

会報 宮内太一

自衛隊に宇宙部隊が新設されたのをご存知でしょうか。「宇宙戦争」SFまがいの宇宙軍事競争が米中間では熾烈である。中国の宇宙軍事力はアメリカの脅威となっているらしい。極端なことを言えば、ソ連が初めて人工衛星を打ち上げた「スプートニク1号」ショックに匹敵するとアメリカは警戒している。

遅まきながら自衛隊も平和憲法下、情報を共有し日本の果たす役割を模索し始めたように思う。



実は、「宇宙が危ない！」で指摘したいのは、宇宙ゴミ問題である。米ソが宇宙開発競争を始めた1950年以来、誰も宇宙ゴミを除去していないのである。だから、ゴミは増える

一方で活動中の人工衛星と衝突事故が起こり始めているのである。原子力のごみ問題と同根である。

そこで「宇宙の掃除人をします。」と世界に声を上げた日本人がいます。アストロスケール創業者兼CEO岡田光信(48)さんです。会社は、東京の下町、墨田区に本社がある。

高校一年の折、NASAのスペースキャンプに参加したのが宇宙に強い関心を持った。そこで宇宙飛行士の毛利衛さんに会えて、「宇宙は君たちの活躍するところ」と手書きのメッセージを頂いたのがきっかけで「宇宙ゴミ掃除人」を目指すことになったというから人との出会いは、不思議です。

この春打ち上げた人工衛星でゴミを除去する技術の実証実験が成功し、2022~23年には衛星の量産をスタート。24年からいよいよ掃除をスタート。衛星がセンサーでゴミに近づき磁力を使って衛星とゴミをドッキング。世界初の宇宙ゴミ捕獲に成功。

「宇宙ゴミ」は、1957年ソ連が初の人工衛星「スプートニク1号」を打ち上げるまでは0であったわけです。二酸化炭素の削減が言われていますが、CO₂は大昔から少しずつ増え続けてきました。それに比べ「宇宙ゴミ」の方が加速度的に増えているので、何もしなければ宇宙がいや地球が危ないんだと。

10cm以上の宇宙ゴミは11月下旬で、3万



6千個ぐらい。ロシア衛星破壊実験でおよそ1500個増えたと言われている。そのゴミは、ロケット

や衛星の残骸であり、硬く、重さ数トンものも。しかも動いているのである。1日に地球16周、東京-大阪間を1分で行く猛スピード。

したがって、ゴミと人工衛星が衝突する事故が起こっても不思議ではないのです。あと数十mで衝突するニアミスは日常茶飯事であるとのこと怖いのです。

現在、世界中の政府や企業が衛星を打ち上げ、「災害、津波監視、金融、IT」など人工衛星が果たしている役割は大きく人類の生活に直結していて、「私たちは、宇宙に支えられている」といっても過言ではないのです。

人工衛星がなくなるということは、暮らしが宇宙利用を始める70年前に逆戻りを意味します。

国連などでも宇宙ゴミ問題の緊急性が認識されています。誰かが解決しなければなりません。解決するのはフロントランナー：アストロスケール社(「宇宙の天秤」)です。宇宙ゴミの深刻さを少しでも、知っていただきましたか。

編集後記

★会報36号は、コロナ感染数が激減の中、来春の希望を感じつつ、発行する事が出来ました。★性の多様化の中、性不一致、夫婦別姓、同性婚等、性の問題が〇〇！放課後子ども教室に通う児童の中に、男子だけど女子として育てられている児童が通っている。その子らしく生きているのを見守っている。

東京都退職校長会 千葉南部支部会報

創立20周年記念号 <第37号>

<第37号>

令和4年5月31日(火)発行

責任者 宮内 太一

〒289-1115 八街市八街ほ 208-157

☎043-443-3968

《退職校長会千葉南部支部》

「創立20周年を祝う」

支部長 宮内 太一

<創立20周年に想う>

「歴代の支部長」の活躍

顧問 桐谷 澄男



南部支部創立20周年を祝う本年は、コロナ感染が終息せず、ロシアのウクライナ侵攻、沖縄返還から50周年、国の内外において大きな時代の節目の年となった。

第20回総会は、3年ぶりに対面の総会となり、万全のコロナ感染対策を取りながら、千葉生涯学習センター特別会議室で開かれた。

私が退職校長会へ入会をして、15年が経った。大久保 明夫前会報部長から、会報部を任せられ、本格的に会と関わるようになった。その後、会報を通して多様な会員と触れ合った。そのことが、生涯学習を心掛ける私の生き方と一致し、会員一人ひとりの生き方にも触れ、本会に所属することが、楽しいものとなってきた。

特に退職後、識見が豊かで海外の日本人学校への派遣教員養成に関わり、先生の人間性と体験をもとに人材育成に尽くされた故張江幸男先生。博物館の学芸員の資格取得ため奈良大学通信課程を修了され、博物館を訪れる皆さんに考古学や仏像等の歴史的魅力をご案内された大木英雄先生には、その自立的な生き方に、勇気づけられた。

更に、採用前実践的指導力養成講座で教員の採用候補者に対しての学校訪問を支援し、育成に取り組んだ事業では、退職校長会に参画する大きな充実感と達成感が得られた。その体験からも退職校長会南部支部の活動が一緒にやってみたく感じる魅力あるものでなければならない。また、人間的に学び合いたいと思う先輩会員の集団であると実感してもらうことが不可欠である。南部支部創立20周年に当たり、その思いを強くするものである。

千葉南部支部の誕生日は、平成13年(2001)6月23日でした。

①渡辺 晴一 初代支部長

(平成13年度<2001>~17年度<2005>)

支部長宅での会合が多く、奥様が御馳走を作ってくださいました。会則は支部長宅で出来上がったのでした。

②太田 雅美 第2代支部長

(平成18年度<2006>~21年度<2009>)

太平洋に面したいすみ市出身で、土地っ子でした。誠実で人の面倒見のいい方でした。令和3年1月亡くられました。(90歳)

③福沢 幾男 第3代支部長

(平成22年度<2010>~24年度<2012>)

教育懇談会では、「破戒」の实在のモデル報告が学問的で印象に残っています。10周年を指揮してくださいました。

④桐谷 澄男 第4代支部長

(平成25年度<2013>~28年度<2016>)

都の退職校長会とのパイプ役として、支部長と理事を並行して務めた。規約改正をもって会員の新規加入増進に尽力する。



⑤渡辺 弘 第5代支部長

(平成29年度<2017>~令和3年度<2021>)

生涯教育への研鑽を深くしておられ、歌も大好きでした。令和3年9月に急逝。(84歳)

⑥宮内 太一 第6代支部長

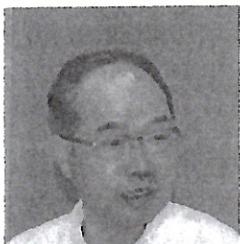
(令和3年度<2021>~)

四国川之江の出身。今はれっきとした千葉県人で、地元の皆さんの早朝ラジオ体操等の音頭取りを長く続けている。

都退職校長会千葉南部支部
創立20周年記念総会について
 千葉市生涯学習センター3F 特別会議室

庶務部長 伊藤 しず子

緊急事態宣言やまん延防止措置が発令されていない5月は3年ぶりになる。まだ油断はできないとしても感染防止対策を行いながら「創立20周年記念の総会・教育懇談会」を開催された。当日は朝方の急な雨に驚かされたが、ご来賓を迎え、晴れやかな会となった。



宮澤不可止議長

○総会9時30分～10時40分)

議事：第1号議案から第5号議案まで提案・審議を行い、すべての議案は承認された。

令和4年度の事業計画を実施する予定。役員一同、円滑な運営を心掛けますので、

会員各位のご支援・ご協力をお願いいたします。

*叙勲、長寿、功労会員の皆さんは諸事情により欠席でした。感謝状、記念品は郵送します。

○来賓挨拶

<東京都退職校長会 多田 丈夫会長(概略)>

生涯現役として、表彰を受けられた皆様おめでとうございます。コロナ禍、ワンチームでの支部運営に感謝する。千葉南部支部からは5名の本部役員の参加を得て、力を合わせていきたい。

- ① 会員の増強
- ② 支部間交流
- ③ 創立70周年式典の準備等を最重要課題としている。

<東京都互助会 金澤 秀行支社長(概略)>

民間企業は50周年を迎えられる会社は起業した会社の6%と言われている。都退職校長会は70周年、千葉南部支部は20周年を迎えられ、素晴らしいと思う。

本社は現在の体制になってからも引き続き、皆様の歴史と文化を学びつつお手伝いをさせて頂きたい。

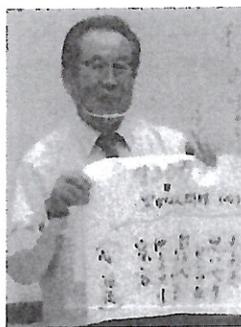


(千葉南部支部総会に参加された皆さん方)

○教育懇談会 (10時50分～11時50分)

創立20周年記念講演『私の生きる力』と題し多賀 義治先生のお話を伺った。

人生100年時代と言われている中、明るく元気に、心身ともに豊かな人生を送るための貴重なお話を伺うことが出来た。



(多賀義治先生)

教育懇談会の多賀先生の記念講演の内容は、赤坂研修部長が、当日の講演内容と多賀先生からの資料を基に次ページに概要をまとめている。

○懇親会 (13時～14時30分)

会場(千葉生涯学習センター)での懇親会は、コロナ禍で中止。千葉街道センシティ交差点近くの「笑和」に会場を移し、コロナ対策をとりながら、少人数の懇親会となった。

多賀先生を囲んでの歓談は時間を忘れ、旬の食材を使用した純和風の懐石料理を堪能した。会員の皆さんと一口も早い懇親会が持てることを祈念しお開きとした。



(千葉生涯学習センター)

『私の生きる力』

講演者・相談役 多賀 義治

5月21日の総会終了後に本会20周年記念講演として、本支部相談役の多賀義治先生に



「私の生きる力」という演題でお話しいただきました。多賀先生は東京都教職員互助会認定派遣講師として都内幼小中学校で教員・保護者対象にお話をされてきました。

この度会員の日々の活動の参考にしたいと、先生の85歳というご高齢を感じさせない生き方について、年齢を重ねる中で日々考えてきたこと心がけてきたこととお話しいただきました。

「人生は 今日という日の積み重ね」

以下、ご講演の概要を紹介いたします。

人生は時間のトータルで、今日という日の積み重ねです。今日をより良く生きなければもったいない気がします。充実した人生は、時間との付き合い次第であり、一日一時間を心豊かに過ごしていきたいと考えています。人生を豊かに生きる秘訣は、常に「感謝の心」をもって過ごしていくことだと強く思うようになりました。そのことで、当たり前すぎて見えてなかった多くの恵みに気付くようになりました。具体的には「ありがとう！おかげ様で！」の言葉・気持ちの多い毎日になってきています。

次に、悩んだ時、迷った時のことです。

「見方・考え方を 変えてみる」

私は「見方・考え方を 変えてみる」ということを心がけています。あの美しい富士山も、眺める場所（地点）を変えてみることで、その姿形が違って見えます。

人の見方・評価もそうです。出しゃばりは外交的、理屈っぽい人は筋を通す人、頑固・強情は意志根性が強い人、陰気ネクラはもの

静かな…と思えばいい。

そのような見方・考え方をすることで、自分の心が穏やかになり、他人を責めることも少なくなります。

行動でいうと、私にとっては「歩くこと」が何よりもいいストレス、悩み、迷いの解消法になっています。くよくよした時はとにかく歩くことです。鬱の予防にもいいのではと、人に勧められています。

「言葉は 心を育てる」

美しい自然や草花を楽しみながら、あるいは町ゆく人々の幸せを祈りながら、背筋を伸ばして歩いてみませんか。心の霧が晴れてきますよ。

つぎに私が「心力」をつけるために試みていることは、「元気をくれる言葉」を活用することです。本を読んだり自分で作ったりして時々目を通します。「言葉は心を育てる」と言えそうです。聖人、先人に学び、心を育てていきたいと思えます。年齢を重ねると体力は低下しますが「心力」は強くなっていくような気がします。「失われたものを数えるな。残された機能を最大限に活かせ」「記憶よりも記録」などの言葉は常に生活に活かしています。

最後に、日々心がけている「あいうえお人生」（多賀先生作）を紹介します。

- ・挨拶いっぱい 明るい人生
- ・意欲いっぱい 前向き人生
- ・運動いっぱい 健康人生
- ・笑顔いっぱい 朗らか人生
- ・思いやりいっぱい 和やか人生

「今日という日は つらつと生きたい」



講演後、地域貢献としてデイサービス等で披露されているピアニカ、オカリナでセミプロ級の演奏を聴かせていただき、その他に地域の太極拳の会長もされている多賀先生の「今日とい

う日は つらつと生きたい」という生き方への強い信念を感じました。

(文責 研修部長 赤坂 寅夫)

本部情報

副会長 藤崎武利

千葉南部支部の創立 20 周年をお祝いし、先輩や役員の皆様にご心から感謝申し上げます。

令和 4 年度本部の活動も始まり、第 69 回総

会や第 1 回会員研修会が実施されました。相変わらずコロナ禍で残念ではありますが来賓や参加者を極力少なく抑え、新会員や長寿・栄誉会員等は氏名一覧に変える等、短

時間で終える事が出来ました。議事の中では、創立 70 周年記念事業経過報告もあり、意義ある記念大会になるよう全会員の理解と協力依頼がありました。

また、後半には第 1 回会員研修会があり、前千代田・中央支部長で現東京都退職校長会事務局長の岩谷榮子先生による「国際教育（ネパールの女子教育）に携わって」という内容で講演会が行われました。大変貴重なお話や映像を通して、改めて教育や人権等の大切さを学びました。そして、残念ながら懇親会はできませんでした。以下概要です。

○日時 令和 4 年 5 月 16 日（月）13 時 30 分

○会場 都立多摩図書館

○総会 開会の言葉、国歌斉唱、綱領唱和、物故会員に黙祷、会長挨拶、来賓祝辞、新会員紹介等、議事

○70 周年記念式典 令和 5 年 5 月 16 日
調布市文化会館たづくり・くすのきホール

○会員研修会「生き生き人生を目指して」
-国際教育（ネパールの女子教育）に携わって-
講師 岩谷 榮子先生



《フラトラ 第4弾》 「渋沢栄一を巡る」に 再チャレンジ

研修部長 赤坂 寅夫

NHK の大河ドラマ「晴天を衝け」に絡んで昨年秋に企画した「渋沢栄一を巡る」でしたが、コロナ感染症の再拡大で中止となりました。

ロシアによるウクライナ侵攻の報道が毎日され、ガソリンや食料資源等の高騰で生活が重苦しい中、「国歌は軍艦と鉄砲ばかりでは強くはならぬ」と世界友好と国際交流に身を捧げ、利益追求だけでなく、筋の通った理念・道徳を持つと言う「士魂商才」を主張・実践した渋沢栄一の生き方に今こそ学ぶときと考え、昨秋の企画を復活させました。

昨秋は渋沢栄一の故郷、熊谷氏の関連施設を巡る企画でしたが、遠距離で時間と費用がかかることから、今回は東京都内でのゆかりの地、北区飛鳥山公園を中心に散策します。

脚力に自信のある方、ぜひご参加ください。



記

○日時・場所等

・10月8日（土）午前10時

・JR「王子駅」中央改札口 集合

○主な参観施設等

・洋紙発祥の地 石碑

<飛鳥山公園>

・渋沢史料館、

・旧渋沢庭園（青淵文庫・晩香蘆）、

・紙の博物館、北区博物館



ゆうなぎ

夕凧の海のように

— 叙勲の栄に浴して —

君塚 斉

JR 蘇我駅の西口から徒歩で15分ぐらいのところに私の拙宅があります。近くにはスポーツ公園や商業施設がありますが、私が幼いころは、海岸の埋め立てが進まず遠浅の海辺でした。



そのころの我が家から見る夕日は、真っ赤になって一段と大きくなり、東京湾に沈んでいきました。それを私の父は、「お

てんとうさまは毎日の終わりにあんなに大きく輝いている。人も何事にも終わりは、きちんとすることが大事だ。」と話しました。それで一日一日けじめをつけることを教えられました。

その父が、保護司を務めたことで昭和48年に瑞宝双光章の叙勲を受けました。

それから47年後、令和3年の春の叙勲に因らずも私が瑞宝双光章に浴しました。

これもひとえに皆様の心温かいご指導とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。さらに懇篤なご祝意を頂き誠に有難うございます。

「故(ふる)きをたずね新しきを知らば、以って師たるべし」と論語にあるように、過去について究めて、それをもとに現在と未来のことを深く考えることが大切です。

私は残されたいくばくかの余生を大事にして、夕凧(なぎ)の海を赤く染める落日のように燃え尽きたいと、父の言葉をもとに思っています。



人は完全でないから努力するのであって、完成された人間が実際に存在するのでしょうか。

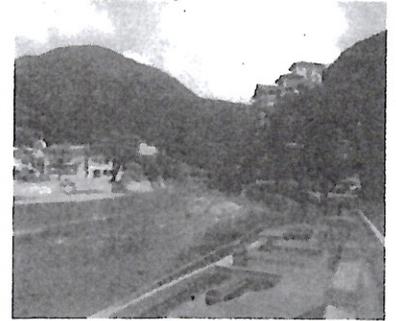
失敗と反省をくり返すなかで、それを糧として次への脱皮をすべきですが、それが出来なかったことを反省しています。

《短歌10首》

学童集団疎開体感

相談役 大久保 明夫

私が小学校3年生の昭和19年(1944)8月から、翌年の終戦後まで、戦火から子らを守るため実施された学童集団疎開での体感を、短歌十首に詠んだもの…。



(温海川)

- 戦火から守りし子らの学童疎開
歴史は重く明日に語りき
- 今はただ悪夢に思えし学童疎開
年経し吾に辛さ染み入る
- 囲炉裏囲みおやつのミカン皮も食べ
寒さ厳しきひもじい疎開



- 心身と寒さと飢えに積もる雪
病でわかる優しい寮母
- つり橋を渡ると動く紅葉かな
温海川こそ今は懐かし
- 谷川の水飛沫上がる温海川
つり橋に舞う赤とんぼかな
- 輪になって温海岳背に「杉の子の歌」
温かな陽射し空は雲なし
- 時移り学童疎開碑除幕式
一つの歴史刻み残さん
- しな織を今に伝える温海町
学童疎開の湯けむりの里
- まだ行かぬ孫に疎開先伝えたく
羽黒詣でと温海訪ねる

近況報告

(順不同・敬称略)

○伊藤 しず子

高齢期のたしなみの基本は自立能力をつけることである。…板東真理子「70歳のたしなみ」より…私もいよいよ70代に入る。①1人でいる時間を楽しんで過ごす。②決断や洗濯も自分の責任で行う。③仕事を継続する。選択
3つの目標を考えてみた。

○藤崎 武利

コロナ禍のため、活動が十分にできず残念です。当方も体調を崩し、ご迷惑をおかけいたしました。何とか回復しつつあります。お互いに無理はせず、健康第一で参りましょう。

○宮澤 不可止

昭和の森公園のボランティアを元気にやっています。約250本の梅の木から実をとる作業を仲間と楽しくやっております。疲れますが、気持ちがいいです。



○羽生 恵美子

江東区教育支援課特別支援教育係の就学相談員として勤務し6年目になります。

年々増えている相談ですが、児童・生徒にとってより良い学習環境を保護者と共に考えることは大切だと思います。朝6時前に家を出て30分小鳥の声を聴きながら歩くのは爽快です。

○赤坂 寅夫

コロナ禍の中、今年は区市の若い先生方からブラトラの要望があり久しぶりに出かけることが多くなりそうです。体力が少し心配です。千葉南部のブラトラも予定しております。

○宮内 太一

コロナ禍のお陰で、新緑の木々にエネルギーを貰いながら、夫婦でウォーキングするようになった。自宅スタートのABCコースを作り、日替わりで歩くと季節の移り変わりの美しさや夕日が沈む八街の風景に心洗われる。ゴミ拾いも一緒にさせてもらってます。

○桐谷 澄男

千葉南部支部が少し前の独立と思っていたものが、もう20年経ちました。そして10周年記念もささやかながら心のこもった行事が出来ました。一人一人の輝きが見事でした。

○東京都退職校長会 会長 多田 丈夫

千葉南部支部創立20周年、誠におめでとうございます。会員の皆様のこれまでのご努力に敬意を表します。貴支部のますますのご発展を心より祈念しております。

○東京都民互助会支社長 金澤 秀行

第20回総会・教育懇談会が開催されますこと誠におめでとうございます。今後の会のご発展をご祈念申し上げます。

○石毛 由美子

日勤講師として学校に勤務しています。若手教員の育成が主な仕事ですが、学校のお役に立てるよう頑張っています。

支部の皆様にお会いでき、嬉しいです。

○多賀 義治

祝！！創立20周年

・教育支援活動・生涯学習の推進
・親睦と互助…の活動目標を心にとめ、強く明るく豊かな日々にします。

会員の皆様のご多幸を祈ります。

(以上の方、総会・教育懇談会に参加)

☆大石 豊

今も、謎の背中痛とつき合っています。移動には車が欠かせなくなりました。趣味の釣りは、船主さんの全面協力で楽しんでいます。盛会を祈念しております。



☆君塚 齊

体調が好ましくないため、勝手ながら欠席させていただきます。南部支部のご発展を祈念いたします。

☆瀧井 正兼

役員の方々のご尽力、コロナ禍の中を、本当にありがとうございます。

3月で92歳になりました。趣味を中心に何とか日々を過ごしています。

☆片柳 文男

ご案内ありがとうございます。

現在、江戸川区子ども未来館に勤務し、化学実験等を担当しています。当日も講座がありますので、欠席させていただきます。

☆春日 昭雄
 何とか元気に過ごして
 おりますが、体力、
 気力ともに衰えがひ
 どくなりました。89
 歳相応かも知れませ
 んが、何とか……。



☆深山 房子

特に近況報告はありませでした。総会の議決は、議長に委任する連絡がありました。

☆阿久津 勝利

私立中・高の顧問と、2つの大学で非常勤講師を務めております。週6日の勤務で、本会は、会費納入だけの会員で申し訳なく思います。お世話になっております。

☆中澤 崇美

体調不良のため、病院通いが多く、医師とかなり親しくなりました。

☆野上 明夫

いつもお世話になりありがとうございます。教育現場を離れて約10年、その後の変化は校長会の情報のみが頼りです。今後もよろしくお願ひいたします。

☆牧野内 正美

今年は車の免許も更新できました。住職として毎月の法話に力を入れてます。ゴルフは、スコアが下がり気味ですが健康のため、月10回ほどコースでプレーします。

☆大久保 明夫

波が舞う海の青さの潮風に
 足跡残す九十九里浜 明夫
 近頃は旅立つ友に思い果て
 いろいろな思い懐かしく浮かぶ 明夫

☆杉山 明

いろいろありがとうございました。
 ご自愛ください。

☆戸取 菊枝

創立20周年おめでとうございます。皆さんのお力のお陰で今日を迎えられるんですね。ご苦労様です。足腰いろいろと支障が出るようになり遠出は避けています。ご盛会をお祈りして居ります。

☆武田 輝男

申し訳ありません。体調不良のため欠席させていただきます。南部支部が、今後も発展していくよう祈念しています。

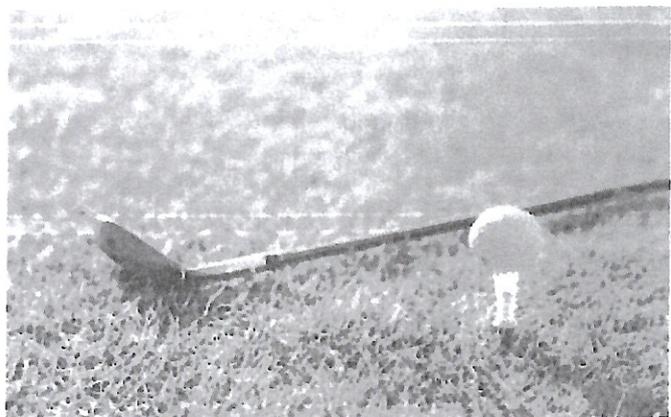


私たちは、ゴルフを愛し自然を愛し仲間を愛し、そして健康な毎日を送るために集まったゴルフ仲間です。現在、「ミツイ会」に合流して参加している。

今までに千葉南部からは、松沢 剛、張江幸男、桑原寛治、多賀義治の各会員が所属した。現在は、宮内太一、赤坂寅夫、桐谷澄男の各会員が所属する。体調が整えば、藤崎武利会員も参加の意向がある。女性の会員も大歓迎！

<ゴルフ同好会定例会のご案内>

- 会 場 市原ゴルフクラブ<市原コース>
〒290-0224 市原市奉免 855
☎0436-92-1711
- 日 時 毎月第二火曜日(8月・2月中止)
6月14日・7月12日・9月13日
10月11日・11月8日・12月13日
1月10日・3月14日
- スタート 8:30 (集合8:00)
- 費 用 ￥10,000-
- 現地集合
- 幹 事 桐谷澄男
☎0436-21-0758
☎080-1114-9683



半日研修のお誘い

研修部長 宇佐美 恒明

東京都公務員連盟千葉支部が企画する「半日研修会」です。



今年度は、「市川市東山魁夷記念館」での絵画鑑賞を下記に要領で実施します。南部支部の皆さんも振るって参加して下さい。

記

日 付 令和4年9月21日(水)
時 間 午前10時から11時30分
集合場所 JR下総中山駅 北口
集合時間 午前10時
観 覧 料 410円

「市川市東山魁夷記念館」

市川市中山1-16-2 ☎ 047-333-2011



下総中山駅北口からバスで記念館前下車。帰路はバスまたは、徒歩20分で法華経寺を経由して、京成中山駅かJR下総中山駅へ。参道には飲食店や土産物屋で賑わっています。会食は、なしです。解散は、11時30分の予定です。

《令和4年度》

叙勲会員 瑞宝双光章 君塚 齊 様
(令和3年春叙勲)
長寿会員 米寿 今関 正義 様
喜寿 武田 輝男 様
功勞会員 大石 豊 様

今こそ！読みたい児童文学

絵本を除く「こど向け小説」で今こそ読みたい作品は何ですか！

「読者のRanking」で1位は、「星の王子さま」(サン＝テグジュペリ)763票です。物語は、サハラ砂漠に不時着した飛行士と、宇宙の小さな星からやって来た王子さまの交流を描く。もっとも有名なのは地球で出会ったキツネだろう。王子さまに秘密を明かす。

<心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。かんじんなことは、目に見えないんだよ>この言葉に心を震わせた人が相次いだ。

2位は、「モモ」(ミヒヤエル・エンデ)485票です。町はずれの円形劇場の廃墟に迷い込んだ、もじゃもじゃ頭の少女モモが「時間どろぼう」と戦う物語だ。テーマは時間。灰色の男たちが言葉たくみに人々から人生の時間を奪う。人々は時間を儉約しようとして、仕事をはじめ日々の暮らしに余裕をなくし、心がすさんでいく。

ある読者は、「時間に追われて、心をなくしていたのは自分でした」(神奈川、61歳の女性)「20歳ぐらいのときに読んだ。当時遅刻魔だった私は他人の時間を奪っているのだと、いたく反省した」(栃木、53歳女性)

私も、この2冊は読みました。著者は、「なぜ、こんなに忙しくて苦しいのか」という悩みを「時間どろぼう」と表現したことだ。読者に問題の存在を強く意識させつつ、「同じ悩みを持つ人はあなただけではない」と話す。多賀先生は、講演の冒頭に「人生は時間のトータルで、今日という日の積み重ねです」という言葉が心にしみ、「自分の生涯を、大切にしたい」と強く思いました。

編集後記

創立20周年記念号、第37号が皆様のご協力で発行できました事、心より感謝いたします。ウクライナ侵攻に心痛める日本人の連帯の心を、朝日歌壇の短歌から届けます。

□少年の目から涙がこぼれ落ち

「パパをキエフに残してきたんだ」

□その人は瓦礫の中のピアノを撫で
ショパンを弾いて母国を去れり

一日も早い、平和な日常を祈念して…!

東京都退職校長会 千葉南部支部会報

<第38号>

<第38号>

令和5年1月31日(火)発行

責任者 宮内 太一

〒289-1115 八街市八街ほ 208-157

☎043-443-3968

《東京都退職校長会》

“都 創立70周年と共に”

千葉南部支部長 宮内 太一



新年明けましておめでとうございます。元日から三日間、快晴に恵まれ、穏やかに新年を迎えました。

去年は千葉南部支部創立20周年記念総会ならびに記念講演会が対面で実施

することが出来ました。会報は、第37号<20周年記念号>を発行し、各会員には、デジタル卓上時計の記念品をお届けすることが出来ました。ひとえに会員の皆様のご協力のお陰と感謝いたします。

また、本年5月には、東京都退職校長会創立70周年記念の記念式典・記念講演会が実施されます。コロナ禍で、参加人数が制限され感染対策が取られる中、千葉南部支部は8名の参加を予定しております。賛助金のご協力にもご支援いただき感謝して居ります。

さて、我が千葉南部支部は、退職校長会としての誇りを持ち、会員一人ひとりの生涯学習を目指し、互いの学びと地域社会への貢献を交換しあう場を持ちながら、諸活動の活性化を推進していきたいと思っております。

コロナ感染が収束に向かい、人的交流の制限が緩和される中、総会、新年会、教育懇談会、一日研修会、退公連の半日研修会、都本部の研修会、ゴルフ同好会等の活動に一人でも多くの会員の参加を促したいと思います。

そこで、会員同士が交歓しあい、生き甲斐と行き甲斐を感じる良き集団であると実感してもらうことが大切だと考えます。

また、年2回発行の会報を通じ、教育現場から思うことや健康維持促進や地域共生社会を目指しての活動などを紙面で交換し合い、会員の絆を一層強い物にしたいと思います。

<教育雑感>

ICT化が進む教育現場

副支部長 石毛 由美子

GIGAスクール構想が導入され、教師と子供、全員にタブレットが支給されました。

子供たちは自分の考えをタブレットに書き込みます。教師も子供もみんなの

考えを一度に見る事ができ、効率的です。また写真や資料などをつけ発表することもできます。発表が苦手な子も、自分の考えを伝える事ができ、大変良いと思えました。

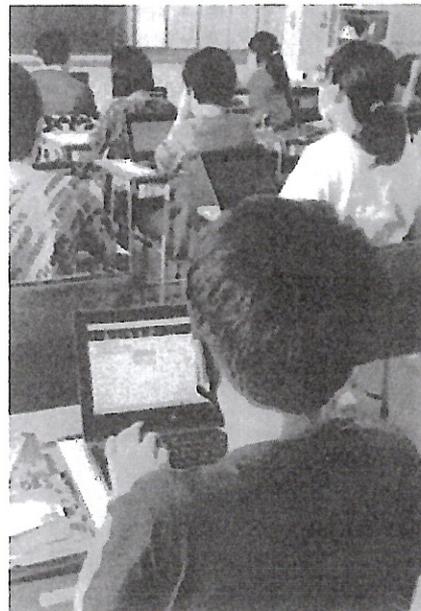
子供たちは操作を覚えるのが早く、お互いに教え合いながら、どんどん上手になっていきます。子供の能力はすごいです。

ただ、タブレットを使つての授業が多くなると、口頭で気持ちや考えを伝えたり、紙に文字を書いたりする機会が少なくなってくるのではないかと心配です。

研修を重ね、教師はいろいろな教育活動を組み合わせて、効果的にタブレットを使うようになってきました。少し、安心しました。

休みの子は、タブレットでオンライン授業を受けられることが出来ます。勉強が遅くれる不安もなく、不登校予防にもなると思えました。

ICT化が進み、新しい時代を感じます。



都退職校長会千葉南部支部

令和4年度役員会・新年会

千葉市生涯学習センター3F会議室「笑和」

庶務部長 伊藤 しず子

令和4年度は、新型コロナウイルス・オミクロン株の世界的な感染拡大に始まり、ロシアのウクライナ侵攻が世界を驚かせた。

令和5年は、特に経済の安定、平和の回復を強く願う年の幕開けとなった。

1月21日(土)、令和4年度の第3回役員会が千葉学習センターの3階研修室で8名の参加で行われた。千葉南部支部20周年事業の報告、会務のまとめと次年度への展望、そして都退職校長会70周年記念事業の報告等、盛りだくさんの協議と報告がされた。



第3回役員会後、寒風の中を温かなもてなしを求めて、新年会会場「笑和」に7名の参加者で向かった。やや遅れて到着したにもかかわらずご馳走が待っていた。「四季彩 睦月のお献立」は食前酒、食後の飲み物を含めて11種に及ぶ。ノンアルコールだが、楽しい会話で身も心も充実した時間を過ごす事が出来た。次回は多くの皆様の参加を期待します。

《参加者のくひと言》を紹介します。》

○子供たち一家や親戚一同が集まり新年を迎えた。退職校長会の研修会参加や会員との旅行など人と出会える機会が増えた。新しい出会いや健康を願っている。



(羽生 恵美子)

○料理が大好きで作って食べてもらう楽しい日々である。千葉県育ちであり南部支部に入ってから新たな人との出会いが楽しいです。お正月はゆっくりできました。

(石毛 由美子)



○社会情勢の視点で見ると、終戦(1945年)から77年前は明治維新。そして、77年後は2022年(昨年)ウクライナ等、世界情勢を見ると…である。



(赤坂 寅夫)

○今年77歳。まだまだ退職校長会での新しい出会いを楽しみにしている。今後も健康に



(藤崎 武利)

留意し、参加していきたい。幕張生まれなので子供のころは貝とり、ハゼ釣り、谷津遊園や養老溪谷の思い出がある。

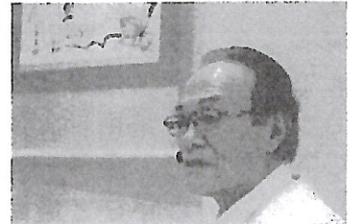
○「第九を歌う会」を16年継続し、昨年は、佐渡裕氏の指揮で歌う機会に恵まれた。



教え子と一緒にゴルフをするのが今年の楽しみである。会員の皆さんの協力に感謝している。

(宮内 太一)

○今は、都退職校長会の創立70周年記念行事を成功させることに集中している。祝賀会がないので、儀式や講演会の内容を充実させたい。20年やっている大晦日のゴルフで「ホールインワン」を達成した。



(桐谷 澄男)

○住宅だった場所に新しく神社が移転してきたので初詣に行った。徒歩1分?であるが、



神社となると何か厳かな新しい場所が変わっていた。今年の日めくりカレンダーは、いつまで続けられるでしょう。

(伊藤しず子)

ことば

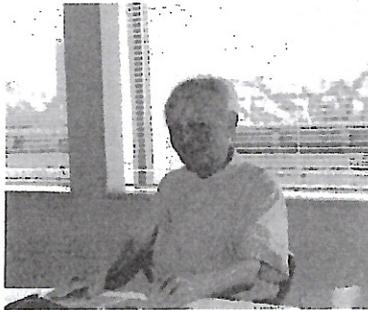
『吾が人生を支える 詞』

講師・相談役 大久保 明夫

9月15日の本支部役員会の終了後の教育懇談会において、相談役の大久保明夫先生に

「吾が人生を支える 詞（ことば）」とい

う演題で講話をいただきました。大久保先生は近代文藝社から「人生～心の絆」を発行されており、その本の一部をコピ



ーした資料を配布くださり、先生の教員人生を支えた詞（ことば）についてお話しいただきました。以下、講演の概要を紹介いたします

「学童疎開での辛い体験から」

江戸川区小岩に住み、上小岩小3年生の時に山形県温海温泉の木造3階建ての旅館に疎開しました。その時の軍隊のような生活と暴力的な先生の記憶から、小学校の教員になったら学童疎開の時のような先生にはなりたくない、子どもを思いやる先生になろうと決意しました。また学童疎開での辛い体験が、「忍」と「耐える」の心を身に付けさせてくれました。

「生きる上で心の支えになっている詞」

これまで教育とは、というより人としてこうあるべきと思い、生きる上での心の支えとなっている詞があります。

「己に克」…弱い自分の心に負けないように、自分に強く厳しく鞭打っていくことが、明日への希望、将来への望みにつながります。怠ける心、諦める心、辛いから～と思う心、誘惑に負けない芯の強さを身に付けたいと思いました。

「誠実・努力」…何をやるにしても誠実な人でなくては、一緒に仕事をしている人に飽きられてしまうことも起こりえます。何事にも、どんな時にも、誠実に対応し、責任を持って努力す

ることが、今を生き抜くために重要なことと考えます。

「今を生きる」…何事につけ、どんな時にも、どんな所でも、今をしっかりと生きて行かなくては、明日は、ない。よりよい明日をめざして、明日の願いと将来の希望に向かって、今を本気に取り組むことが大切であり、明日の夢を夢に終わらせないためにも、しっかりとした目標・計画を立て、そのための努力をすることが何より重要であると考えます。

「落地生根」…「落地成根」とも書きます。中国華僑の人々の精神を表した言葉で、種が地に落ちて根が生じ芽を出して育つように、そこに根付いて共に栄えようという心が込められています。そこに根付いて共に栄えるためには、その時その時のその仕事に対する誇りと感謝の気持ちを持って頑張っていくことが重要です。私は、今在ることを最高の場と捉え、いまよも良くしたい、やり甲斐のある場にしたいという信念で努めてきました。

「つくし会」に込められた思い

「つくしんぼ」…学生時代に観た松竹映画小林正樹監督、松山善三脚本で戦後の若者たちの姿をつづった青春群像劇「美わしき歳月」の主人公のセリフから、土筆は子供の遊び場で足に踏まれてしまう、踏まれない土筆は秋になり冬が来て枯れてしまう。でも根が残っている限り、春になると必ず芽を出すという土筆の忍耐強い姿を受け止め、映画の若者が各々に希望をもって精一杯に生きようと努力している。その姿を見守り育てていく老婆と老紳士の姿を通して精一杯希望を持って生きることの大切さと勇気に感動しました。



この映画に感銘を受けた私は、教員として最初に受け持った子ども達と同窓クラス会名を「つくし会」としました。この子らが私の定年退職と還暦を祝う会を両国のホテルで「つくし会」を開いてくれました。

この集いを平成21年の年賀状に記したのが次の短歌です。

教え子が還暦迎えたクラス会 新卒時代の子らの面影

(文責 研修部長 赤坂 寅夫)

《フラトラ 第4弾》 「渋沢栄一を辿る」に 再チャレンジ

会報部長 宮内 太一



10月8日(土)午前10時にJR「王子駅」中央改札口に集合した会員は、赤坂寅夫・伊藤しず子・羽生恵美子・宮内太一の4名でした。

昨年秋に企画した「渋沢栄一を辿る」でしたが、コロナ感染症の再拡大で中止となり2年ぶりのフラトラ第4弾の開催となりました。渋沢栄一の東京都内のゆかりの地、北区飛鳥山公園を中心に散策しました。

□学問や芸術の発展のために！

製紙会社を作る。(王子製紙・日本製紙の前身)

最初に洋紙発祥の地を訪れました。製紙会社の設立は、実は渋沢にとって銀行の設立と同じくらい重要なものだったのです。どうしてそんなに製紙会社にこだわったのか。渋沢がフランスに留学した折、万博でのナポレオン皇帝の挨拶が翌朝の新聞には全部掲載されていることに日本と外国との文化に関する力の差を感じたのです。もし国民の手元に気軽に新聞や本が届いて、情報が手に入りやすくなれば、学問も芸術もより発展すると考えたのです。



紙幣をはじめとする紙需要を見込んで、明治6年(1873)に東京府北豊島郡王子町(東京都北区)抄紙会社を設立。同26年には王子製紙と発展したのです。



□民間外交と社会事業に注力し、

日本の国際化を目指す。

上野公園・隅田川墨堤公園・飛鳥山公園は、江戸時代からの桜の名所である。

栄一は、明治31年(1898)に本邸を飛鳥山に移し、昭和6年(1931)91歳で没するまで30余年は、飛鳥山邸で過ごした。

今回訪れた「晩香蘆」「青淵文庫」は、大正期に飛鳥山邸内に作られた。栄一の喜寿を祝って、「晩香蘆」、傘寿を祝って竜門社が贈呈した「青

淵文庫」は、栄一が収集した論語関係の書類等を収蔵する文庫である。晩香蘆、青淵文庫ともに栄一が来賓の接待・交流の場として、大いに活用していた。



当日は、フラダンスの愛好家が渋沢庭園や飛鳥山公園の芝生でグループ発表会が行われていた。

さらに、栄一は、社会事業にも熱心だった。最初に取り組んだのが孤児や貧民のなどを保護する東京養育院(現・東京都健康長寿医療センター)。

明治9年(1876)36歳の時から91歳まで院長を務め、多忙でも月1回は菓子を持って子供たちを訪ねたという。

さらに注力したのが、民間外交である。喜寿を迎えた栄一は、財界から身を引き、殖産興業の次に見据えたのは、日本の国際化である。北区飛鳥山の渋沢邸は、私設の迎賓館として用いられた。元アメリカ18代大統領グラント、インドの詩人タゴール、後の中華民国総統蒋介石、イギリスの救世軍創立者のブースなど各国各界から来賓が訪れた。



また、81歳にして4度目の渡米、排日の風が強まるアメリカで、昼は祝賀会、夜は移動の日々を重ね、121日間で53都市を巡回。

親善と相互理解に努めた。それもあってか、栄一は、2度ノーベル平和賞候補に上がっているのです。

□渋沢資料館リニューアルオープン！(2020)

最後に訪ねたのは、渋沢資料館である。開館以来(1982)、栄一の調査研究、諸活動の成果に基づいて、近代日本経済社会の基盤を作った渋沢を3つのテーマ「ふれる」「たどる」「知る」でひも解く展示は素晴らしく資料館の最先端を行くものでした。館内のレストランでハヤシライスの昼食を取り、王子駅に戻り解散した。

□終わりに

幸田露伴は、「渋沢栄一伝」で、激動の幕末・近代を一心不乱に生きた一人の青年は、「その人即ち時代その者」と記している。また、渋沢栄一は「論語と算盤」に「道理とは、天にある太陽や月のように、いつも明るく輝いていて、決して曇ることはない。だから、道理と共に行動するものは必ず栄える」と。渋沢栄一の原点を作った埼玉県深谷市血洗島の生家を訪ねたい気持ちになったフラトラであった。

「教員養成に携わって感じている事」

阿久津 勝利



先日、都のある研究会の会員名簿で所属校の欄に「〇〇中学校兼任」との記述を発見した。始めは非常勤講師かと思ったのだが違った。都では、ある教科の専任教員が必要数に足りず、配置できない学校が生じ、地教委からの具申で複数校の兼任

発令や、在籍校からの出張で他校の授業を担当させるなどの対応をしていると聞いた。

その他の教科でも補充のための臨時的任用および非常勤講師が共に不足し、当該校の教育課程の実施に問題が出ているとの話がある。教育課程の円滑な実施はもとより校長の学校経営に大きな問題を生じさせている。

世代交代が進む小学校の教員の採用試験の応募者は、全国的に減少の一途、都に至っては産育休に入る教員等の補充で採用する臨時的教員も不足し、長い期間担任が配置されない学校もあったと聞く。

「いったい人事行政は何をしているのか」そんな学校現場の悲鳴が聞こえてくるようである。採用試験の応募者の減少は、過酷な厳しい労働状況であるとの報道などもあって、すっかりブラックな職場との風評が高まったことが原因の一つになっているかも知れない。

しかし、教職は、言うまでもなくやり甲斐のある価値ある仕事である。やり遂げた私たちはそれを十分に知っているわずかな期間の教育実習しか経験しない学生は理解できるものではない。だからこそ教員養成に携わる立場になった今、それを伝えていこうと日々取り組んでいる。



SDGsと化学実験

片柳 文男

私は退職後、江戸川区子ども未来館で専門員として、主に化学分野を担当しています。

江戸川区は、区の施策の一つとしてSDGsの推進をしています。そこで、最近私が行った講座の一部を紹介させていただきます。



◆持続可能な社会を考える化学実験

1. 牛乳から分解性カゼインプラスチック作り
牛乳から作成したプラスチックを型に入れてストラップを作ったり、土壌に一ヶ月埋め土壌バクテリアで分解する実験を行ったりして、地球環境に優しいバイオプラスチックを広めることの大事さを学ばせました。

2. 二酸化炭素を減らす燃料電池

ポカリスエットやお茶のペットボトルに電気を通して電気分解させ、酸素と水素を発生させ燃料電池を作り、モーターを回す実験をしました。これからの社会は、ガソリンの代わりに水素や電気を使って、二酸化炭素を出さない自動車を作ることの必要さを気づかせました。

◆実験・観察を通して探求心を育てる

子どもたちは、自然や現象に接すると不思議さや探求心が生まれます。



しかし、年齢がたつと薄らいでいきます。子どもの純粋な目や心と未来社会の課題をどう結び付けばいいのかを日々考えながら励んでいます。

教育人生を振り返って

相談役 大久保 明夫

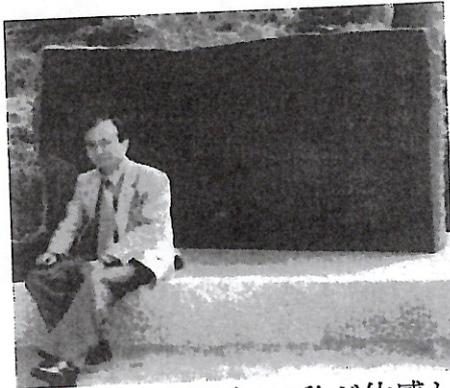
1. 学童集団疎開体験感

戦火から守りし子らの集団疎開

歴史は重く明日に語りき 明夫

戦後 77 年目。遠き昭和生まれの私が、小学校 3 年生（昭和 19 年）の 8 月半ばから翌年の終戦後（当時の

大東亜戦争）にかけて、都会の子を本土上空への空襲から守らなければ～と言うことで始まったのが学童集団疎開である。



この集団疎開（山形・温海）で私が体感した冬の寒さと辛さ、躰の厳しさを二度と小学生に味合わせたくない。「子供と共に考え、その子なりのやり方をわからせていける先生でありたい」。この思いが小学校教育の原点でした。歴史を知ることは、自分を知ることである。

2. 人生へのおもい

人生はいろいろな思い越えて行く

わが人生は如何ばかりかな 明夫

これまで、私は、志、気概、気骨をもって最善を尽くして、「人生という旅」を歩んできたつもりだが…。

吾が人生 昭和・平成と走り抜く

と師友の恩恵ありてこそ今 明夫

人生の深い谷間、険しい山、諸行無常の世の中、時は得がたく失い易い。これまでに得た師、先輩・友の恩恵を心に歩み続けたい～命と言う時間を永遠に続く限り！



幾たびか迎えし春も八十路半ばに

なお夢多く人生という旅 明夫

学習を通して、人間形成の素地を育てる初等教育・教職に関われたことに誇りと感謝の気持ちを持っている。「あんたが嬉しいだけでなく、みんなが嬉しく感じるのが一番だぜ！」NHK大河ドラマ「晴天を衝け」で、息子栄一への母親の言葉が私の心に響く。

3. 遠き昭和の灯り懐かし

近頃は旅立つ師友に思い果て

色々な思い懐かしく浮かぶ 明夫

命ある限り、知力、気力をしっかり維持し、その時その時を精一杯生きて、明るい希望を抱いて歩み続けたい。命の尊さ、楽地生根、己に克心と師友ありて道が開かれると確信する。

人生は今を生きる心根で

明日への力 身につけて行く 明夫

人が成長する背景には、いつも変わらぬ原風景と人間関係があることこそ望ましい。夢・希望を持ち、心に響く明日を信じて…。人生も、余生が充実しているかどうかで過去が生きたり死んだりする。

4. 終わりに

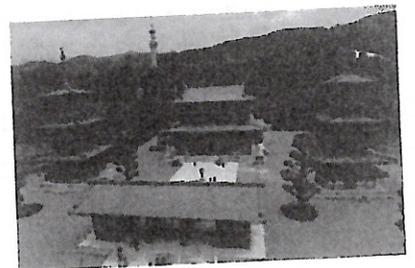
平安の昔を偲ぶ嵐山

もみじ祭りの屋形船かな 明夫

伝世の文化に浸る西ノ京

写経の墨がほのかに香る 明夫

時は身じろぎもせず悠久のまま千年の古都に千年の知恵がある。嘗て、薬師寺で写経をした事がある。写経は、心を洗い清浄心を養う道場のように思えた私。心に響く明日を信じて、何事も前向きに、くじけず努力邁進。



自らが志したるこの道を

明日に悔いを残さぬように 明夫

近況報告

(順不同・敬称略)

○石毛 由美子

今、日勤講師として、学校に勤務しています。子供と関われるのは楽しいです。新しい年を迎え、何か人の役に立つことをしたいと考えています。

○多賀 義治

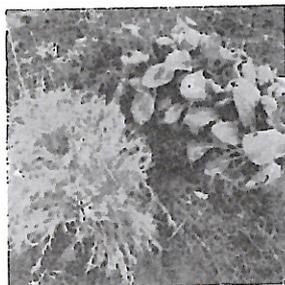
- ・ 願い…世界の平和、コロナの終息
- ・ 体調、身調の安定…そのための心がけ
- ・ 実行…小まめに動く、心配より心配り

○桐谷 澄男

本会の70周年記念式典(令和5年5月16日)に、千葉南部支部支部長の宮内太一氏をはじめ、大木英雄、多賀義治、藤崎武利、石毛由美子、赤坂寅夫、宮澤不可止、桐谷澄男の8氏が参加予定です。式典の成功を祈る新年になりました。

○伊藤 しず子

新年を迎え、いよいよ70代に突入。去年は体調を崩しがちだったが、まだまだ仕事や家事そして趣味も継続したいと思う。保育所での週4日の子供たちとの活動は漲るエネルギーを貰っている。小さな菜園での葉物や夏野菜のわずかな収穫も楽しみである。丁寧な暮らしと笑顔を心がけ日々を過ごしたい。



○羽生 恵美子

コロナ感染対応の中、健康に気を付けながら勤務し、会合に出席し、友達と旅行、会食を楽しめた時とても幸せを感じました。今年も健康第一に過ごし家庭菜園、ガーデニングを楽しみ好きなお花を家庭や職場に生きたいです。

○藤崎 武利

3年前に大病を煩い、まだまだ不安で無理のできない状況です。散歩に努め一日一日を大切に生活していきたいと思っています。

○赤坂 寅夫

昨年復活したブラトラと社会科の授業研究を充実させ、嘗てのように多くの方ともんじやの会で語り合いたいと思っています。

○大久保 明夫

師宣の見返り美人育てし里

房州うちわに雨情楊枝 明夫

千葉房州の良さを改めて感じてるところです。

○武田 輝男

趣味の鳴く虫の飼育と朝顔、菊栽培の腕をもっと上げたいと思っています。

○深山 房子

ここ2~3年、出かけることがあまりなくなりました。早くコロナがおさまってほしいと思っています。

○矢口 雅章

今年1年間、ボランティアガイドとして多くの方に接していきたいと思っています。

○宮澤 不可止

コロナの第8波が来ているようですので、持病もあり気を付けて日々を暮らしています。今年も市内の公園で250本の梅の木の世話をするボランティアをします。

○野上 明夫

健康維持に最善の努力を尽くしたいと存じます。

○君塚 齊

令和5年12月23日88歳でご逝去。ご長男様より、ご丁寧な父上の訃報を頂きました。

合掌

○阿久津 勝利

名を連ねるだけの会員です。最後にお世話になった江戸川区で引き続き仕事をしております。区内の中学校との関わりのある仕事で充実した日々を送っております。皆様のご健康とご多幸を祈念します。

○片柳 文男

週4日間、江戸川区子ども未来館で働いています。今年、休みの日に、都バスで東京巡りをやってみようかなと思っています。

近況報告

○牧野内 正美

健康に気を付けゆったりと生活したいと思
います。

○戸取 菊枝

ご連絡ありがとうございます。2022年は入院
を2回、その他に肩腱盤断裂で現在治療中、1
年の半分は病気や病院との付き合いでした。
2023年度も引き続きですが、外に目を向けて頑
張りたいと思います。

○瀧井 正廉

日々同じ事の繰り返しのようですが、その中
に何か新しい発見を心がけたいと思っていま
す。3月で93歳に、趣味を中心に日々過ごされ
ているそうです。

○高原 武

6月で79歳になられます。最終学校は、都立
墨東養護学校(H17.3)。インドの教育事情に
ついて教育懇談会で語っていただきました。

○春日 昭雄

今年4月で90歳の卒寿を迎えられます。最
終校は江戸川区松江3中(H6.3)です。

○宮内 太一

- ・すみだ男声合唱団活動16年目に入る。
 - ・ラジオ体操会は、4月から11年目に入る。
〈継続は力なり・楽しみである〉
 - ・「八街東みらい塾」の地域学校協働活動の継続。
 - ・民生委員・児童委員が3期目に入る。
 - ・町内のソフトボール、「ダボ連発」ゴルフ同好
会、「さわやかイレブン」パークゴルフ会に参加。
 - ・「カシオペア」卓球同好会を続ける。
 - ・日帰り旅行や音楽・ミュージカル・英国バレ
ー団の鑑賞等を予定している。
- ≪「日々是好日」一日一日を大切にしたい≫

謹んでご逝去を悼み ご冥福をお祈り申し上げます。

今関 正義様 2022年(令4) 4月21日 87歳

君塚 齊様 2022年(令4) 12月23日 88歳

令和5年度 ご案内

ゴルフ同好会

ゴルフ幹事 桐谷澄男

<ゴルフ同好会定例会のご案内>

1. 4月「ミツイ会」定例会

- (1) ゴルフ場 市原ゴルフ柿の木台コース
- (2) 日 程 令和05年04月11日(火)
- (3) スタート 8:45

2. 5月「ミツイ会」定例会

- (1) ゴルフ場 市原ゴルフ市原コース
- (2) 日 程 令和05年05月09日(火)
- (3) スタート 8:45

3 6月以降の「ミツイ会」定例会

- 6月13日(火) 8:45 柿の木台コース
- 7月11日(火) 8:45 市原コース
- <8月中止>
- 9月12日(火) 8:45 柿の木台コース
- 10月10日(火) 8:45 市原コース
- 11月14日(火) 8:45 柿の木台コース
- 12月12日(火) 8:45 市原コース

<令和6年>

- 1月9日(火) 8:45 柿の木台コース
- <2月中止>

3月12日(火) 8:45 市原コース

○2023年もよろしくお願ひいたします。

編集後記

先日の強い寒波で庭の白磁の瓶が凍結して
割れてしまいました。今朝は、-5°Cの冷え込み
ですが、蟬梅が満開です。白梅もちらほら咲き
始めています。

八街市のボランティア活動の研修会に出席
しました。いくつか心に残った言葉を紹介します。「誰でも楽しめる活動をやり続ける。老後は
楽しく元気に。心地よい話をしよう。外へ出よ
う。褒めることの大切さ。」等。

ボランティアの報酬は、笑顔と人の役に立つ
自己満足である。ボランティアがつながり縁づく
りに私も頑張ろうと思いました。(宮内)